

ちばSSKネットワーク

しない、させない、孤立化!

～ INDEX ～

- 1 トピックス
- 2 協定締結企業の取組事例（日本郵便(株)関東支社・大和ライフネクスト(株)）
- 3 高齢者孤立化防止県民シンポジウムの開催について
- 4 ちば認知症こどもサポーター事業について

◆ トピックス

2040年、高齢世帯4割超

今年1月に発表された国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると22年後の2040年には、世帯主が65歳以上の高齢世帯が2,242万世帯となり、全世帯の44.2%を占め、2015年の36%から大幅に増加すると予測されました。また、65歳以上の高齢者の1人暮らし世帯は、2015年の625万世帯から2040年には896万世帯と1.4倍となり、そのうち男性の高齢者の1人暮らし世帯は2040年に356万世帯となり2015年の206万世帯から1.7倍に、女性の高齢者の1人暮らし世帯は2040年に540万世帯となり2015年の420万世帯の1.3倍となる見込みとなりました。

今後、県や市町村による高齢者の孤立化防止対策の推進はもちろん、地域住民の力による地域づくりが必要不可欠となっています。

平成28年度高齢者虐待対応状況

※〔 〕内は平成27年度

3月9日に厚生労働省が、平成28年度の高齢者虐待の対応状況に関する全国調査の結果を公表したので、県内の調査結果についてお知らせします。

県内54市町村で受け付けた養護者による（家庭における）高齢者虐待に関する相談・通報件数は1,456件〔1,309件〕で、市町村が虐待を受けた又は受けたと思われると判断した人数は833人〔813人〕でした。被虐待高齢者の77.8%が女性であり、また全体の50.7%が何らかの認知症の症状を有していました。

相談・通報件数増加の要因については、高齢者虐待に対する住民・関係者の関心の高まりに加え、県警では人身安全関連事案として高齢者虐待に力を入れて取り組んでいることもあり、警察からの相談・通報件数が460件〔331件〕と増加していることが影響していると考えられます。早期発見の取組が進んでいる一方、まだ表面化していないケースも想定されるため、一層の普及啓発・体制整備が必要です。

日本郵便株式会社関東支社

◆大切なご家族のみまもりを郵便局がサポートするみまもりサービスの取組み

現在、少子高齢化、高齢者単身世帯の増加、地域の過疎化などが課題となっており、そんな中、郵便局では地域・社会に貢献できる活動の一つとして、郵便局社員が離れて暮らす大切なご家族に会いに行き、お話しをして、その様子をお伝えする『みまもりサービス』の提供を開始しております。

《郵便局のみまもりサービスとは》

みまもり訪問サービス

郵便局社員等が毎月1回30分程度利用者宅を訪問し、生活状況を確認し、ご家族等へメールでお伝えします。

【例えばこんな方に・・・】

- ・生活状況について把握したい
- ・頻繁に帰省することができない
- ・人との会話で元気になってほしい

みまもりでんわサービス

ご利用者に毎日お電話(自動音声)で体調確認を行い、その結果をご家族等へメールでお伝えします。

【例えばこんな方に・・・】

- ・元気かな？と気になることがある
- ・定期的に生活状況を確認したい
- ・忙しくて毎日連絡ができない

駆けつけサービス(オプション)

もしもの時には、ご家族等からの要請に応じてご利用者宅に駆け付けます。

【みまもりサービスに関する問い合わせ先】

0120-23-28-86

受付時間: 平日8:00~22:00 土・日・休日9:00~22:00



これからも郵便局は、地域・社会に貢献してまいります。

◆危険予知訓練の実施

交通事故の死者数は年々減少傾向にある一方で、65歳以上の高齢者が占める割合が高くなっています。今後、高齢者事故防止に努めていくには、高齢者本人だけではなく、周囲の人々も気をつけていかなければなりません。

郵便局においても事故災害を防ぎ、安全な業務運行ができるよう様々な取り組みを行っています。

その一つに、郵便局周辺の危険箇所や交通事故発生状況等を鑑みて危険予知訓練を毎日実施しています。

◆大和ライフネクスト株式会社 東関東支社

～超高齢社会への対応に向けた啓蒙および啓発活動～

大和ライフネクストでは、マンション管理業の最前線でお客様と接する自社雇用のフロントマネージャー（管理員）に対して、今後の超高齢社会を迎えるにあたって必要となる知識を今以上に深め、その対応力を養うべく、以下の啓蒙・啓発活動を継続的に行ないました。

① 地域包括支援センターと連携した勉強会の開催

弊社のフロントマネージャー200名超に対し、全3回に分けて各地域の地域包括支援センターより、講師としてセンター員の方々を派遣いただき、社内講習として認知症講座を行ない、以下の内容について学びました。

- ・認知症のメカニズム、症状、治療、予防等
- ・認知症サポーターとしての認知症への関わり方
- ・マンションの管理現場で実際に起こりうるケーススタディ

※講習の様様



② 福祉住環境コーディネーター資格の取得奨励

2017年7月および11月に行なわれました「福祉住環境コーディネーター試験」に際し、資格取得の奨励として合格者へ補助金を支給し、知識習得を促す取り組みを行ないました。

新しい知識を得る機会として、社会貢献として、自らの生活にも役立つ資格として、共に合格を目指し知識を習得した結果、25名が合格を果たしました。

今後は、弊社管理マンションにお住まいの居住者の皆さまが気軽に相談できる良きアドバイザーとして、更なる展開を進めて参ります。

高齢者孤立化防止県民シンポジウムの開催について

平成30年1月28日(日)、ホテルポートプラザちばにおいて「高齢者孤立化防止県民シンポジウム」を開催しました。周知にご協力いただきありがとうございました。115名が参加され、盛況のうちに終えることができました。

今回のシンポジウムでは、高齢者地域支え合い活動の優良事例を紹介するとともに、取材を通じた高齢者の孤立についてNHK チーフ・プロデューサーの板垣淑子氏から御講演いただきました。

なお、主な内容は次のとおりです。



1 高齢者地域支え合い活動団体表彰・事例報告

地域で支え合い活動を行っている2団体が、受賞され、表彰団体からそれぞれ事例報告をしていただきました。

【千葉県知事賞】 老川地区はつらつ支援ボランティア(大多喜町)

【奨励賞】 我孫子南フレンドネット委員会(我孫子市)

老川地区はつらつ支援ボランティアからは、町のボランティア養成研修受講後、組織立ち上げまでの経緯とおおたき元気いきいき体操の運動サポーターとしての活動内容のほか、保育園の園児と高齢者との世代間交流の取組など、地区内の団体と積極的に連携を行っていることや地区の高齢者への声かけが見守り活動につながっていることについて説明がありました。



我孫子南フレンドネット委員会からは、我孫子南地区の特性や住民構成、活動マニュアルの策定や委員会立ち上げの経緯のほか、委員会での見守り活動の内容について、自主的な見守りのほかにも市、本人、家族からの要請を受けた見守りも行っており、見守り活動の中で高齢者の安全確保に直結した事例について説明がありました。

2 講演「孤立しないために～取材の現場から～」



NHK 名古屋放送局報道部(報道番組)チーフプロデューサーの板垣淑子氏から、全国の孤立死の実態について、引き取り手のない遺体の火葬件数等の調査を皮切りに取材を開始し、ごく当たり前の平凡な暮らしをしていた人たちが孤立していくケースを途中「老人漂流社会」の番組を視聴し、当時の取材の様子を補足説明しながら御講演いただきました。また、助け合い活動の具体例についても先進自治体の例を御紹介いただきました。

参加者からは、「他人事とは思えずためになった。」、「自分でできることを考えていきたい。」等の御意見をいただきました。

ちば認知症こどもサポーター事業について

認知症は誰もが関わる可能性のある身近な病気であり、2025年には全国の認知症高齢者数は700万人になると推計されています。

千葉県は全国2番目のスピードで高齢化が進行しており、それに伴い認知症の人も大幅に増加すると推計されていることから、県では認知症施策の充実に努めており、「ちば認知症こどもサポーター事業」を紹介いたします。

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を見守る応援者です。小学生が認知症について学ぶことで認知症を身近なこととしてとらえ、「思いやりの心」を育み、あらゆる世代で互いに支え合う地域づくりを目指すために、児童を対象とした「認知症サポーター養成講座」の県内の小学校での実施に向けた取り組みを今年度より順次進めてまいります。



HP 「ちばSSKプロジェクト」について

<http://www.pref.chiba.lg.jp/koufuku/shien/ssk.html>

ガイドラインに基づく協定締結状況について

<http://www.pref.chiba.lg.jp/koufuku/shien/shougyoushatou/guideline.html>



協定締結企業・団体（締結日順）

株式会社セブン・イレブン・ジャパン

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社千葉本部

日本郵便株式会社関東支社

千葉県生活協同組合連合会

第一生命保険株式会社

河野プロパンガス有限公司

イオンリテール株式会社南関東カンパニー

損害保険ジャパン日本興亜株式会社千葉本部

株式会社シニアライフクリエイト

大和ライフネクスト株式会社

この会報に関する問い合わせ先

千葉県健康福祉部高齢者福祉課生きがい活動推進班

電話 043-223-2328

千葉県高齢者を地域で支えるネットワーク会議 構成機関・団体等一覧

(H30.3時点 52団体)

イオンリテール株式会社南関東カンパニー	千葉県商店街振興組合連合会
(一社)千葉県LPガス協会	千葉県商店街連合会
(一社)千葉県経営者協会	千葉県人権擁護委員連合会
(一社)千葉県経済協議会	千葉県新聞販売組合
(一社)千葉県高齢者福祉施設協会	千葉県地域包括・在宅介護支援センター協会
(一社)千葉県歯科医師会	千葉県中小企業家同友会
(一社)千葉県社会福祉士会	千葉県中小企業団体中央会
(一社)千葉県商工会議所連合会	千葉県町村会
(一社)千葉県タクシー協会	千葉県デイサービスセンター協会
(一社)千葉県バス協会	千葉県弁護士会
(一社)千葉県ホームヘルパー協議会	(一社)千葉県訪問看護ステーション協会
(一社)千葉県薬剤師会	千葉市町内自治会連絡協議会
(一社)日本フランチャイズチェーン協会	千葉司法書士会
(一社)日本民営鉄道協会(関東鉄道協会)	千葉地方法務局
(公財)千葉県民生委員児童委員協議会	中核地域生活支援センター連絡協議会
(公財)千葉県老人クラブ連合会	東京電力パワーグリッド株式会社千葉総支社
(公社)千葉県医師会	(特非)千葉県介護支援専門員協議会
(公社)千葉県看護協会	(特非)ちば地域密着ケア協議会
(公社)日本水道協会千葉県支部	日本司法支援センター千葉地方事務所
(公社)認知症の人と家族の会千葉県支部	(法テラス千葉)
(社福)千葉県社会福祉協議会	房総ガス協議会
千葉県生活協同組合連合会	千葉中央郵便局
千葉家庭裁判所	千葉県
千葉県経済同友会	千葉県教育庁
千葉県在宅サービス事業者協議会	千葉県警察本部
千葉県市長会	
千葉県生涯大学校卒業生学習会	
千葉県商工会連合会	